



# 学校経営方針

## 1 はじめに

神宮前小学校は、「児童が輝き」「保護者・地域に信頼される学校」目指して教職員一同全力で取り組みます。本校の全ての教育活動は、子供の成長のためにあります。そして教育目標の具現化のために実施していきます。従って、「子供のためになるのか（子供ファースト）」を判断の根本にし、教育活動の改善に努めます。

## 2 「神小の子」育成計画

### (1) 新しいスタイルの学校づくり

神宮前小学校はコロナ禍を乗り越え、新しいスタイルの学校づくりを進めてきました。安心・安全な学校、行事の精選と整理、ICT活用教育の推進と学びに向かう力を育成する授業改善に取り組んできました。スポーツデー、展覧会・音楽会・学芸会の大行事、御殿場・那須・日光の宿泊学習は、子供ファーストの考え方で実施してまいりました。そして、今年度は、4年ぶりの「秋の大運動会」を実施します。全校児童が一緒に盛り上がる体験を復活させたいと考えています。また、近年の猛暑で実施が難しくなってきた夏休みのプール指導を区内小学校一斉に廃止し、夏休み前に水泳指導を終わらせることにしました。

### (2) ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進 シブヤ未来科へ

令和5年1月25日（水）の研究発表では、学んだ知が既習事項や経験、地域のことや友達の意見とつながることで深い学びになる研究実践を紹介し、自ら学びに向かう児童の育成の成果を発表しました。この研究成果を基盤に、タブレットを主体的に身近な道具として活用し、個々のニーズに応え、学びを広げる学習者用デジタル教科書の活用等を通じた個別最適な学びとともに、個々の多様な考えを共有し、そこから新たな考えを創り出す協働的な学びを一体的に行い、新たな学びへと授業改善を進めていきます。

渋谷区では地域と学校のことを学び、グローバル社会を生き抜く力を育む「シブヤ未来科」の授業を行っています。本校は、明治神宮の表参道にある学校として、地域の自然と歴史や表参道の変遷を調べる活動を通し、情報活用能力やコミュニケーション能力と表現力を育み、「コミュニティ・スクール」として地域の方々や、明治神宮や地元商店街・企業などと連携した教育活動を進めていきます。

#### 令和5年度 自らの考えを表現する子供を育てる。

- タブレットを主体的に身近な道具として活用し、情報活用能力・コミュニケーション能力を発揮して自らの考えを表現できる子供を育てる。

#### 令和6年度 他者と協働して探究し、自分の地域に愛着がもてる子供を育てる。

- 渋谷・神宮前の地域のことを調べる活動を通して、多様なコミュニケーションをとる中で、自分の地域に愛着がもてる子を育てます。

#### 令和7年度 学校と地域に誇りをもち、進んで地域に関わろうとする子供を育てる。

- ICTや英語などを活用した多様なコミュニケーションの中で渋谷シティプライドを醸成し、社会貢献できる子を育てます。

## 3 本校の教育目標

国際色豊かな地域性を生かし、生命尊重・人権尊重の理念を基盤として、児童が友達、教師、地域の人々との出会いや関わりを大切しながら、楽しく真剣に学べる学校づくりを目指す。

また、知・徳・体の調和を目指し、確かな学力を育成するとともに、日本の伝統・文化を尊重し、健康な心と身体を養い、広く国際社会に貢献することのできる心豊かでたくましい、未来社会の形成者を育成する教育を推進する。

- ◎自ら考え高め合う子 Intelligence Aspiration \*本年度の重点目標
- 進んで実行する子 Activity Responsibility
- 健康で心豊かな子 Friendship Healthy life

今年度から「自ら考え高め合う子」を重点目標にします。授業が楽しい！と感ずることができるよう学びをつくっていきます。

## 【教育目標達成に向けての基本方針】

- ☆ 「自らの考えをもつ」・「表現する」・「つながる」、そして「新たな学び」の実現を目指す業づくり
  - ・読解力・表現力を1年生から系統的に育成する。(言語能力の育成)
  - ・タブレットを主体的に身近な道具として活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行う授業スタイルの在り方を見いだす。(新たな学びの実現)
- ☆ 健康で心豊かな子を育む環境づくり。
  - ・上級生が下級生の手本となり、リードする学校づくり→水車班活動の充実
  - ・いじめのない学校→いじめ防止基本方針の実施といじめの未然防止
  - ・心を育てる教育の推進→コミュニケーションの能力の育成→道徳教育の充実
- ☆ 子供の生命・安全、心と体の健康を第一に進める体制づくり。
  - ・子供の安心・安全を最優先に考え、教育活動と施設管理を行う。
  - ・健康教育、食育、安全教育の充実。自分の体を知り、健康・命は自分で守る態度や能力を養う。



## 4 経営の重点

- (1) 愛校心と地域を愛する心をはぐくむ「シブヤ未来科」の実施 **キーワードは水・ICT・SDGs**
  - 明治神宮・表参道を軸に統合的なつながる学びができるカリキュラム・マネジメントを行う。
  - 表参道にある学校として、3年代々木八幡宮・4年浅草仲見世・5年明治神宮の鎮守の森・6年日光東照宮を調べることを通し、問題解決能力を高め、グローバル社会を生き抜く力を育む。
  - 地元の方々や地域の商店街や企業の方々などをゲストティーチャーに招き、学びを深める。
- (2) 楽しい授業づくり(授業力向上)
  - 「学びたくなる授業づくり」⇒魅力ある授業ができる教員研修の充実を図る
  - 「問題解決学習の充実と評価の改善」⇒質の高い「問い」と、子供のやる気が出る評価を行う。
- (3) 研究・研修の充実
  - ◇ 校内研究「自ら学びに向かう児童の育成」研究発表後も継続研究を行う。
- (4) 生活指導の充実
  - 子供の安心・安全の保障といじめのない学校づくりを進める。(未然予防、早期発見・早期対策)
  - 挨拶、言葉遣いを徹底的に指導する。規律を守る態度を育成する。教師が率先して言語環境を改善する。
- (5) 特別活動の充実
  - 縦割り班活動「水車班活動」の充実を図る。活動内容の充実と活動時間の確保を行う。
- (6) 特別支援教育
  - 特別支援教育コーディネーターと特別支援教室専門員を中心に、けやき教室教員、スクールカウンセラー、学習指導員、学習支援員、介助員、巡回心理士、SSWなどの連携を強化して対応する。
- (7) 職務に対してコスト意識をもつ
  - 期日と時間を守り全職員が効率の良い仕事をし、働き方改革を進める。整理・整頓に心掛け、施設や備品を有効活用する。各主任は、児童の安全という観点から備品の維持管理や更新を計画的に進める。
- (8) 安心・安全な学校
  - 新型コロナウイルス感染症対策を確実にし、新しい生活様式の実現を図る。
  - 不審者に対するセキュリティや情報セキュリティを高め、児童の安全を守る。
- (9) 幼保小連携、小中連携、小小連携
  - 原宿外苑中学校との小中連携(ICTを活用した中学校区の連携事業の実施)や幼保小連携を充実させ、交流活動を通して、コミュニケーション能力を高める。鳩森小と連携して自然体験教室を行う。

## 5 おわりに

「学び続ける教師から学べる子供ほど幸せな者はない」・・・そんな教師を目指します。

子供たちの学びを充実させるには、教師自身が何年経っても学び続けなければならないと考えます。子供たちにとっては、その日、その時間がたった一度の貴重な学びの機会です。教師はその学びに対して最大限力を尽くすことが必要です。私たちはその使命を自覚し、授業改善を図り続け、子供たちが未来をよりよく生きるための力を身に付けることのできる学校を目指していきます。